

部長) 連絡調整し、市民の声を伝えていきたい。
●国分寺崖線(はげ下)の豪雨対策について
 先般の台風9号接近の折、土砂災害警戒情報が発表された。この情報はどの様なものか?
 部長) 気象庁、都との共同で発表され市町村長が避難勧告を判断しやすくする為の情報。市内では崖線付近を中心に15か所がそれにあたる。尾作) 浸水等の報告のある地域。対応を求める。部長) 様々な雨水対策を早急に図ります。

目標を明らかにし、市民との情報共有促進を



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

自治会加入率向上と掲示板設置補助について

丸山) 自治会加入率が40%を下回っている。福祉・防災等で地域との協働が謳われ、自治会はその中核の存在である。市として数値目標・スローガンを示し、自治会側と目的を共有した上で加入率向上に取り組むべき。また自治会掲示板は地域の情報共有にとり重要な存在だが、その補助は新設・修繕のみに限られている。移転・撤去についても適用範囲を拡大すべき。

市民生活部長) 今後策定する「国分寺市総合ビジョン」で、数値目標及びスローガンをしっかり定め、各自治会と共有したい。掲示板設置の補助要綱についても見直しを行って参りたい。

ジェネリック医薬品の普及について

丸山) 市民全体への広報がなされていない。市のジェネリック普及率目標がいくらで、達成によってどれだけの財政的効果があるのか、市民と情報を共有し、協力を求めるべきである。福祉保健部長) 各団体と連携し、具体的目標が達成された場合、給付費がどれだけ削減されるかを分かりやすく市民にお伝えして参りたい。

トイレ清掃について

丸山) 市内小学校で児童によるトイレ清掃が行われていない。感染症予防には細心の注意が当然必要だが、誰もが使い、しかし避けたくもあるこのトイレ掃除を児童自身が行うことは人格的成長・公共心を培う上で非常に価値があると考え。導入を検討すべきと考えるがどうか。教育長) 現在小学校7校でトイレ改修を終え、新しいトイレを使っている。こうした環境を捉え、様々な議論を行うことが必要と考える。その他) 入札、民営化、道路標識につき質問。

保育士の処遇改善、固定資産税の減免を問う



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

◆子どもたちのために保育士さんを応援

星) 保育所職員の安定した処遇の保障が、子どもたちにとっての安心・安全な保育につながるの観点から質問する。民営の認可保育所における保育士の休暇取得率のデータを市に求めたが、提出いただけなかった。その理由はなにか。市)そこまで調べる権限が市にはないと考える。星)全国的にみると、保育士の月給は、他産業の平均より11万円低い(厚労省調査)。休暇も取りづらいと言われている。「幼い子どもの生命を預かる」という責任の重さに見合わない賃金と労働条件。これが保育士不足を招いているというのが、国の見解である。

待機児童の解消にむけた市の努力によって、民営保育所の誘致が積極的に進められている。保護者は、「量の拡大」と共に「質の維持・向上」を求めざるを得ない。保育所が増えている今だからこそ、保育士の労働実態がどうなっているのかを把握することは、行政に求められている今日的な課題である。仮に、問題が発見されるようなことがあれば、当該の保育所と市がその改善にむけて協力し合うことが、国分寺全体の「より良い保育」につながる。

◆税の減免による「空き家」発生抑制を

星) 空き家を解体し更地になると、減免が解除され、固定資産税が約3倍に上がる。「この負担が、空き家発生の要因ではないか。更地にしても税の減免を継続すべき」とのご意見を市民から頂戴した。

市) 法律の趣旨に照らすと、減免は適用すべきではないと考える。

星) 実情に対応した空き家対策をお願いしたい。

り災証明発行システム導入で効率的な対応を



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

り災証明発行システムの早期導入を求める!

だて) 災害後の生活再建に欠かせない、り災証明であるが、手作業だと対象数も多く、発行まで非常に時間がかかる。東京都で推奨しているシステムを導入すべきではないか?

市) 熊本地震でもそのシステムが用いられ、大きな効果を確認したが、コストの問題もある。現在、都で費用面も含めた新たな検討が進んでおり、引き続き情報収集につとめたい。

だて) 市民の生活、財産に直結する問題であり、予算を捻出してでも早期に進めるべきである。

近隣の高校、大学等との連携強化を!

だて) 国分寺高校の生徒に夏休みに市立中学生への補習授業を行ってもらうことはできないか?(国立市で同様の取組みが行われている)。

市) 平成19年以降、都立高校では奉仕の授業が必修になっており、市も国分寺高校と清掃活動など連携を持っている。各学校へ取組みを紹介し、検討してもらいたい。

運転免許自主返納支援について

だて) 高齢者の自動車事故が増加している。お年を召されても、元気にどんどん外へ出かけて頂きたいが、同時に車の運転リスクの増大も認識は必要。事故防止の観点からも運転免許自主返納制度の理解促進を行政としても進めていくべきであり、並行してタクシーやバスの割引など返納者への支援も検討して頂きたい。

市) この制度の運用で交通事故を一つでも少なくしていきたい。運転免許証を返納しても、公的な身分証明書が発行されることなど制度の周知に努めると同時に、警察や庁内での連携を、図りながら支援策を検討して参りたい。

時代の変化に対応した公共施設の運用を



公明党 高橋 りょう子

(1) 市民の健康推進施策、がん教育の推進

昨今、障がい者を殺傷、中学生の集団暴行殺人、いじめを苦に自殺等残忍な事件が起きている。

医師会と連携し命の尊さ学ぶがん教育講演等を。教育長) がん教育は重要な指摘、検討する。

②未就学児のインフルエンザ公費助成が10月開始。流行を前に情報提供と周知を。併せて若年層の保護者に健康診断の積極的な受診勧奨を。市) 保護者への特色あるアプローチを検討する。

(2) 災害時は口腔ケアで「肺炎」予防を!

3.11避難所や被災地では口腔雑菌等が原因の肺炎が死因第1位と。避難所や水の不足時対応やケア方法は重要で、情報提供と周知徹底を。市) 口腔ケアやうがいの重要性等を周知する。

(3) 公園整備台帳作成し緑の保全を計画的に公園樹木は日差しを遮る剪定など専門知識も必要。職員研修等で市民に喜ばれる公園整備を。市) 各公園の特性を活かした整備等に努力する。

(4) 高齢者の詐欺被害抑止に庁内横断連携を高齢者を狙った卑劣な特殊詐欺犯罪に自動通信録音機設置が大変有効と。担当からも声掛けを。市) 今年1月からの詐欺被害総額8件1,716万円と。担当課、警察等と連携し対象者に推進する。

(5) 北町地域センターの狭隘対策・効率化を人口流入や利用者増加により手狭に。室内機材を室外に収納するなど使い勝手の工夫で対応を。市) 施設の敷地に雨露しのぐ収納スペースを設置するなど運用面でのカバーを含め検討する。

②自治会の無い地域に於いて計画停電等緊急情報伝達には平常時から掲示板設置が有効かと。検討を。市) 情報空白地と認識し模索する。

その他: ①18歳選挙権の取組み。等質問。

交通安全対策で安心して歩ける環境整備を!



公明党 なおの 克

●福祉・健康施策について

問) 脳血管疾患の早期発見による脳ドック検査の助成制度実施の検討経過は如何か?

福祉保健部長) 医師会の理解が必要だが、脳ドック受診を行う方向で具体的に調整している。

問) 介護予防の視点等介護ボランティア制度の導入を求めてきたが、その後の経過は如何か?

福祉保健部長) 今年7月から実施する。参加者が安心して活動できるよう丁寧に進めて参りたい。

●駅周辺まちづくりについて

問) 恋ヶ窪駅東口改札の新設について本格的な検討をすべきと考えるが如何か?

都市計画担当部長) 今年度から3ヵ年の取り組みで、意見交換を行い議論の俎上に載せていく。

問) 買い物客の利便向上や商業振興の視点に立ち、自転車駐車場の短時間無料化を検討すべき。

都市建設部長) 今後の国分寺駅北口の地下自転車駐車場の運営方法等、検討を行っていく。

●交通安全対策について

問) ①自転車レーン②自転車専用ミラーの設置

③自転車のマナーアップ向上の検討は如何か?

都市建設部長) ①自転車レーン: 市道南306号線から来年度以降整備をする。②自転車専用ミラー: 自転車と車両方が確認できる大きいミラーを試験的に設置する。③マナーアップ向上: スタントマンの実演、スケアードストレート方式の教室等、行って参りたい。

●電子図書館について

要望) 電子書籍は、保管場所を必要とせず、老朽化しない。管理コストが安く、いつでもどこでも借りる事ができ様々な効果が期待できる。電子図書館の導入を求めたい。